



▲地域からも親しまれている企業主導型保育園「まつの実」

# 笑顔で子育てできる 働きやすいまちが好き

「イクボス」とは部下のワーク・ライフ・バランス(=WLB、仕事と家庭の両立、以下同)を考えて、安心して子育てできる環境を整えてあげることができる上司のこと。女性も男性も「ともに働きやすいまち」を目指す藤枝市は、昨年10月産学官のトップがイクボス宣言を行い、子育てしながら働きやすい環境(イクボスの輪)を広める活動を始めた。藤枝市の取り組みと、社員が働きやすい環境づくりに挑戦している地元企業をレポートした。

## 子育て世帯の働き方に協力 上司自らもWLBを楽しむ

イクボスは「職場でともに働く部下・スタッフのWLBを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)」と定義づけられている。もし実際にイクボスの上司が職場にいれば、子育て中の女性社員だけでなくその夫である男性、さらにはこれから結婚や出産を考えている人たちも大変働きやすくなるに違いない。女性がいきいきと働ける環境をつくるには、上司(ボス)がどれだけ女性の立場を理解し協力する意識があるかが大事で、パートナーの協力も不可欠だ。パパに育児に参加したいという積極的な気持ちがあっても、毎日残業や休日出勤などが続けば実行は難しい。子育て世帯が働きやすい社会をつくるには、パパ社員の定時退社や育児休暇の取得を奨励するなど、男性が積極的に育児に参画できる制度や環境を整えることが大切だ。

## 産学官共同でイクボス宣言 家事や育児学ぶ講座も好評

藤枝市など県中部地域8市町の首長と商工会議所会頭、大学の学長でつくる中部地域経営会議は2017(平成29)年4月、「女性活躍推進宣言」を行った。宣言では、産学官が連携して働く人それぞれのキャリア形成と人生を応援するイクボスの思想を広めていくことをうたっている。

藤枝市が2017(平成29)年度に策定した「男女共同参画第3次行動計画」でも、イクボスの養成に向けたさまざまな施策を推進して

いる。昨年7月にはNPO法人ファザリング・ジャパン代表理事の安藤哲也氏を招いて市の管理職を対象にしたイクボス研修を実施。管理職全員がイクボス宣言をするなど、庁内の意識改革を進めた。昨年10月に開催した「イクボスセミナー」では、藤枝市長と藤枝商工会議

所会頭、岡部町商工会会長、静岡産大の学長によるイクボス宣言式も行い、話題を集めた。また市内に住むパパを対象に家事や育児への参画支援とWLBを考えるきっかけをつくるため、料理やベビーマッサージ、ミシンの使い方などを学ぶ「イクメン養成講座」も開いている。



▲昨年7月、藤枝市の管理職を対象に開かれたイクボスセミナー



▲松葉倉庫(株)の松葉秀介社長(右)と保育園の鳥羽弘剛事務局長



▲イクボス宣言式には藤枝市内の産学官のトップが集まった



▲本社倉庫の横にある「まつの実」

働き方改革関連法が施行され、時間外労働の上限規制や有給休暇取得の義務化など、働きやすい環境づくりは着々と進んでいる。こうした制度を定着させ、働く人にやさしい職場をつくっていくためにも、イクボスの存在は欠かせないといえる。

## 藤枝市初の企業主導型保育園 従業員たちの声から生まれる

社員のWLBに意欲的に取り組んでいるのが、地元物流会社の松葉倉庫(株)だ。同社は昨年4月、社員やパートさんの子どもだけでなく、近隣の会社に勤務する人や地域の子どものためにも預かる、藤枝市初の企業主導型保育園「まつの実」を市内下当間の本社隣に開設した。物流業界は今深刻な人手不足に直面しており、同社も例外ではない。幅広い年齢層の従業員の中には育児や介護に悩みを抱える人も多く、特にこれから結婚や出産を控える若い世代からは、出産後の復帰が不安だという声が多かった。「それなら自前の保育施設を自分たちでつくろう、というのが始まりでした」(松葉秀介社長)。ただ、中小企業が単独で保育園をつくるのは大変だったよう

で「運営を委託している(株)あきさんを始め、行政や地元自治会、近隣の提携企業の皆様には本当に感謝しています」と当時を振り返る。定員は0歳児5名、1歳児と2歳児が6名ずつの計17名。「まつの実」は認可外保育園ではあるが、国の認可基準のもと、保育士の人数や園児1人あたりの面積は県の認可保育園と同等以上の基準でつくられているのが特徴だ。焼津や静岡への通勤途中にも近いことから、焼津や静岡への通勤途中に利用する人もいるという。

## ベビマ講座が人気集める 最近では企業からも依頼

子どもの免疫力を高めるというアールヴエーダ式ベビーマッサージや食育指導を通じて、親子のスキンシップと食の大切さを伝え続けて「Merge(マーヂ)の三輪早苗さんが主宰する「ベビマ講座」が、4月下旬焼津市内で開催された。月に1〜2回、定期的に開いているこの講座には、生後3カ月〜2歳の子を持つ母子5組が藤枝や焼津から参加し、子どもの全身をオイルでマッサージしながらなごやかに交流した。最近では企業から依頼を受けて講座を開催することも増えているという三輪さん。「従業員とお子様向けの講座もありますので、ぜひ活用して仕事と育児への不安を解消してください」と話している。



▶育児中の女性に人気の「ベビマ講座」